香川ニュース
第63号
編集発行
香川自治会
広報委員会
中央タイプ印刷

みんなの香川を住みよい町に

茅ケ崎市防災総合訓練実施

九月一日 香川小学校校庭にて

残暑が大変厳しかった九月一日、かならず来ると言われている東海地震を想定しての避難訓練が香川小学校校庭において市主催により行われました。

当日は市長はじめ市職員、電電公社、消防署、消防団、市医師会、松香台地区住民、総勢一、五〇〇人（香川八〇〇人）の参加により行われ二時間余りの訓練を午後三時過ぎ無事終了しました。

訓練内容は電電公社による電柱および電話回線の架設、松香台住民のすいとんの炊き出し、茅ケ崎市医師会による三角巾の使用法そして救護法、市衛生課による水の濾過装置の使用、消防団による放水訓練、消防署によるビル火災の救助訓練、地区住民の消火器による消火訓練、倒壊家屋の中からのケガ人救出担架による運搬、起震車等でありました。毎年この日に行われている防災訓練も今年で11回目となり参加された各方面の方々の御意見を伺いました。

電電公社

実際の場合一般の電話は一せいに使われる恐れがあるので、使用不可能になると思う。回線の復旧は困難であるが広域避難場所には、防災関係の機関が優先となる特設電話線が引かれている赤電話以外の公衆電話（黄色、青色）は別回線なので使用可能だが使用は短時間でお願いします。

消防署

高層建築物の災害救助を行うのは救助小隊といい隊長以下隊員七名づつの第一警備、第二警備の二班があります。救助隊の車からロープをビル内に向けて弾丸のように打ち救助を待つ人がそのロープを固定し、救助隊員がそれを登って救助するわけです。あとビルの窓にまで伸びる梯子車でも救助します。ふだん練習をしていますがやはりこわいですね。

市衛生課

汚れた水をモーターで汲み上げ精密な濾水器を通りきれいな水となってタンクへ入ります。

消毒はしていないので煮沸してから飲料水として用いて下さい。濾水器は市内九カ所（プールのある所）に設置済。

誘導班

避難訓練は緊迫感がなくガタガタした感じですっきりしなかったと思う。会場へ来てからも放送が聞きとれず進行がわからない。食物は豊富だから心配は少ないがケガが心配だ。

救護班

訓練は専門の人がそばについていたので手早くできたが実際の場合はどうでしょうか。もっと多くの訓練をする機会をつくって欲しい。

市長より

毎年やっているが機動力が揃っているので見よかったと思う。

自治会館建設五周年に想う

自治会長　亀井精一

早いもので第六回菊まつりの秋がめぐって来ました。

二〇年も昔にさかのぼると思いますが、公民館の改修をやらなければとの声があがり、建設基金の積立が始まり、対策委員会が出来、地区挙げての総力の結集がこの会館建設に拍車をかけ、立派な建物が完成しました。

今後はこれからの香川を如何に住みよい街にするかが吾々の双肩にかゝっています。

先般香川小学校で開催された鶴が台地区地域づくりに提案された事柄がみな香川地区を発展させ次代への飛躍を夢見ています。

図書館建設、東海岸寒川線の延伸、香川駅周辺に派出所の設置、小中学校の増設等々、これらの願いを現実にするための努力を傾注せねばならないと考えます。

明治、大正、昭和と百年の歳月が流れましたが、地域の環境づくりに団結が固かったこと、将来茅ケ崎市の副都心ともいわれている香川のためにご協力をよろしくお願いいたします。

私は香川の移り変りに夢見るような理想郷を想い浮べます。

整備された街路を連れだって買物に急ぐ主婦、緑一杯の公園に喜々として遊ぶ子供、涼しい木蔭に孫の手を引いて散策するお年寄等、豊かな田園都市香川にすることが住民の願望であり、これを実行することが住民だと考えます。

夢を正夢にするために

敬老の集い盛大に開かれる

十一月三日第六回菊祭りが自治会館で行われた時会館完成以来五周年を迎える記念すべき年に当るので特別行事として敬老の集いを企画された。

香川在住一六一名を招待した。

約八割の方々が午前と午後に分けて出席されました。

会場には香川に住いの趣味の会等素人芸能、かくし芸が催され、お年寄りのみなさんはゴザの上に座ぶとんを並べくつろいでいただきました。自治会、婦人会、民生委員、自治会図書部の皆さんがお汁粉、おでん等の接待に大わらわ楽しいひとときを過し、参加された方々からことの他喜んでいただいた。

会員のかくし芸は好評でこんな人が香川に、とおどろかれ会員相互の親睦に役立ち意義深いものとして文化の日を飾ったことに大きな拍手を送りたい。

お汁粉を食べながらの観覧

『香川の将来を考える研究会』より

――その二この経過――

研究会は、二月八日第一回の会合いらい協議を重ね、去る十月八日午後七時から十時ごろまで、自治会館で第十一回目の集会を開きました。

この会合には、茅ケ崎市の数田下水道部長や所管の課長・係長ら六人に、自治会長から出席を要請し、初回以来、緊急のテーマとして議題にのせてきた、南下水路の早期実現について、市側の基本構想をきいたあと、参会者から降雨のたびに路上溢水や浸水被害をうけている窮状報告がなされ、一日も早い対策を講じてもらいたいとの切実な要求がありました。

この三時間近い説明と質疑応答の中から、要約したものを記して、研究会の中間報告といたします。

市の説明（あらまし）

1.市の施行する公共下水道事業は汚水と雨水処理の二系統に分けられ、汚水は柳島海岸にある終末処理場へ送り、雨水は北下水路とほぼ同じものが昨年十一月南下水路として法決定されている。

2.市は人口過密な千の川幹線（汚水）を五六年度から着工しており、将来はこの中間浜の郷の所に香川第一幹線が接続されるが施工は数年先になる。

3.香川南下水路は雨水の排除を主とし、下水幹線のできるまで家庭排水も認めるが土地区画整理事業が実施されるかどうかによって、着工のめどがつくと思うので、地元権利者を含めて、住民の総意をまとめてほしい。

4.南下水路は巨額の投資となるので、市の単独事業ではやれず、国の補助対象にする必要があり、そのための地元の協力を求めたい。なお当日の出席者は自治会から会長以下六人研究会から会長顧問ら六人一般から二十余名でした。

公共下水道として香川汚水幹線を！

「皆さんに、下水路は有りません、従って水路の悪臭が強いと言われても蓋掛けの約束は出来ません。又此の水路を下水路に使用する建築は許可されない」

これは、去る十月八日自治会館で開かれた南下水路等の説明会での下水路部長の発言である。確かに名目的には用水路だが現実は、すでに第一、第二町内の数百世帯が家を建て、下水路として長年使用している、今更やめて、庭に穴を堀る訳にも行くまい、それを承知の上で今日まで放置して来た市の行政に、住民の不安と不信とが渦巻いた。

では一体市は何を、説明によれば、北部開発に三六〇億を投じ、千の川、香川第一、第二、汚水幹線と、別に南下水路とを計画し、全戸の水洗化と、下水問題の解決を計ると言う。

だが国庫補助は、五六年、五七年は決定したが、以降は全く見通しが立たない。

ではその間私達は、どうすればよいのか、日々の活しに欠かすことの出来ない下水である。

市側も現在の水路敷を、大雨時の溢水等に備え、改修は進めたいと理解を示している。そこで更に一歩進めて、今の水路の下水路化か、又は同様の取扱いをして欲しい、又南下水路についても早期着工を希望する。

勿論私達は、公共下水道として、香川汚水幹線は渇望するものだ。しかし、「明日の百より今日の五十」のたとえもある。行政当局の善処を切に望みたい。

（杉浦敏勇記）

秋の祭典

10月4日　香川地区体育大会

11月1～3日　菊まつり

第六回菊まつり

秋といえば菊の花、中国でも古くは野外で菊花酒を飲み、日本でも宮中で菊花の宴が催されたとか、毎年恒例の十一月三日〝菊祭り〟が今年も盛大に行われました。今年は香川の自治会館創立五周年とあって催しもにぎやかにその幕を開きました。

菊の花は二十六点出品され投票によって順位をつけ表彰されましたがいづれおとらぬ美しさにしばし見とれておりました。

菊を咲かせるまでにはいろいろな苦労があり、新芽をとって次の年さし木をして、水やり、天候などに注意しながら形をつくり育て上げるそうです。

大輪、小菊、乱菊、懸崖、そのさまざまな形の花びら一つ葉一枚に育てた人の心がこもっているようで毎年楽しみに見に来る人が多くなり投票者も増え今年は二五六人になりました。

投票結果は次の通りでした。

四番　五五票　亀井家治氏
五番　四一票　亀井家治氏
二五〃　二八票　〃　真下虎雄氏
二四〃　二四票　山口武広氏
十四〃　二四票　沼上三郎氏
十三〃　十五票

館内には皮細工、リボンフラソー、俳句、書道、はり絵等が展示されていました。

香川に住む方達の止どまることのない趣味のつづいに改めて目を見張る思いでした。

仲間との楽しみがやすらぎとなり生きがいとなってここに表現されている事実に心から声援を送りたい。

山彦のからりと返るはつ紅葉　みや
横さまに咲くコスモスや峠越　球子

秋も深まりやがて霜が降り寒さが増すことでしょう。心だけでも暖たかく助け合い、また来年の菊祭りを楽しみにして幕を下すことにしましょう。

（俳句は茅花会出品作より）

見事に咲いた菊・菊・菊

会場に展示された作品

秋空に大きくひびく大歓声

第十三回 香川地区体育大会

十一月一日　快晴

香川一周健康マラソン行われる

男子一六名、女子三名の参加を得て決行され自治会館より香川駅を経てチサン団地、大山街道相模線ふみきり、山口やさん、香小横、小室建設、大山街道手前、松風台、汚水処理場、玄珊寺、湘南スイミング、幼児園前、玄珊寺、自治会館迄延々五・三キロを完走されました。

男子
一位　大田金治氏
二位　高橋聡氏
三位　榎本篤氏

女子
一位　福キミエ氏
二位　越本通子氏
三位　金沢淑子氏

午後は香川小学校に於いて、ゲートボール大会が開かれ寿クラブから三チーム、体育振興会から一チームが参加し競い合いました。

寿クラブのみなさんの日頃の練習がものを言い当日だけ参加した体振のみなさんは歯がたたず完敗しほんとに楽しいゲームでした。

十一月二日　雨

この日は風雨が強く出足は非常に悪く展示品がひっそりと館内にあるのみでした。

午後から明日の敬老会の為に世話役の方達が下準備に忙しく立ち廻りました。

十一月三日　曇

休日の為か朝から老若男女が会場に見え展示品を眺められたり、次々と敬老の会に出席されるる方々も集まり一段と会館もにぎやかになり、玄関前では丹精された鉢植えの菊に一般投票されたのも夕方〆切られ開票されました。菊祭り最後の日にふさわしい一日でした。

以上三日間にわたる菊祭りもその内容を充実したものとして今年の秋を飾り、役員一同は、ほっとして散会しました。

※～※～※

▶突然出て来たアトラクションの仮装に大喜びの子供達
▲綱引きに力いっぱい頑張るお父さんやお兄さん達

十月四日絶好の運動会日和に恵まれ第十三回香川地区体育大会が盛大に催されました。

昨年より採点種目が二種目減ったとはいえ、未就学児のヨーイドンから寿クラブと子どもの破鈴、PTAや婦人会の演技、家族リレーなど子どもからお年寄りまでにぎやかに進められました。

また子供会や町内対抗リレーのときなどは身をのり出して大きな声援をおくるなど、まさに選手と観覧席とが一体となった演技のようで、とても楽しくまた緊張の瞬間でもありました。

運動会一言インタビュー

観覧中の方々に、体育大会に寄せる想いを取材してみました。

この大会に子供が出場するので、初めて見に来ましたが、こんなに盛大だとは思わなかった。又来年も来たいですネ。

毎年楽しみに来ています。普段だとあまり見られない大人の演技が見られて大変良いと思います。これからも続けて見にきます。

バトンクラブの演技がとても可愛らしく、この大会に花を添えているようでとても良い。

香川小でバザーがあった頃は地域の人たちが早くから列をつくり、老若男女、子供まで楽しい一ときを過しましたが、それがなくなってしまったのでこの香川の体育祭で地域の巾広い年代の方々と一同に集まり親睦を深められることはとても良いことだと思います。

アトラクションがおもしろかった。来年もやってほしい。

係の方々も大変だと思いますが、子供会の競争にもう少し気をくばってほしかった。

毎年参加していますが綱引きが男性だけなので女性も参加させて欲しいと思います。

借り物競争のような見物人も参加できる競技やパン食い競争のように笑いの興る競技など楽しいものをふやして欲しいです。

初めて見物にきたのですが人数が足りないのでどうしても出て欲しいと言われいやいや出たんですけどとても楽しかった。見ているよりずっと楽しくて午後もまた参加しました。最初の出場にはとても勇気がいるんですね。

親子の競技が午前と午後の二回あるといいですね。それから新しく引越してきた方に体振の内容を知らせて欲しいですね。

初めて見に来ましたが楽しいですね。グランドがもっと広いといいですね。

あんまりおもしろくないな。学校の方が楽しいよ。でもさ、こっちの運動会は出るたびに賞品くれるところがいいな。

（児童に感想を聞いたら男子も女子も同じような答えが返ってきました。多くの児童は観覧席の後の砂場や空き地でおもいおもいに遊んでいました。）

いつも見に来てますよ。楽しいですね。宝つりゲームに出ましたが針が大きくて引っかける網目が小さく思うようにかからなかったけど役員の方が引っかけてくれたので釣り上げることができましたよ。網目が大きいと釣りやすいと思うけどねえ。

でもなかなか釣れないところが楽しいのかしらね。（お年寄）

今年は校庭わきのプレハブをプロパンが使用できお湯の沸きも早くお茶の接待もスムーズにできました。いつもですと外でお湯を沸かしていたので風が吹いたりして苦労しました。（接待係）

例年より人出が多く盛り上がってますね。子供達の参加が予想以上に多く賞品が足りなくなってやりくりするのに大変です。（賞品係）

地域の団体が一つの目的に向って力を合せ、ここまで盛大にするには大変ご苦労もあったことだと思う。これも今までの体振の方々の熱意ある取りくみが地域の人びとの心に伝わり「自分たちの運動会」として浸透してきたからでしょう。今回も体振の会長さん初め皆んな良く協力しているようで気持がよいですね。これからも手づくりのこの大会を大切にしてほしいです。

反省会より

体育大会役員による反省会から抜粋してみました。

◎二三〇〇メートルを走っているメンバーがいつも同じようなので他地区からも招待したり呼びかけて参加してもらったらどうか。

◎この体育祭は三自治会（香川、甘沼、松風台）がひとつとなって行う大きな行事なので、他の練習などで参加できないということのない様、各団体の代表者の方など配慮して欲しい。

◎町内対抗種目が減ったが、時間や選手の依頼など大変と思うが、やはり多い方が盛り上ると思う。

◎プログラムの内容を新鮮味のあるものに。

◎各地区毎に応援合戦をやり、応援賞など出したらどうか。

◎用具などいつも学校から借用するが、借りるのも大変だし、年使用するので少しずつ購入していったらどうか。

◎綱引きの採点があっさりしすぎている。

◎賞品はみんな同じような品物でしたが対抗種目はもう少し上等な品物を出したらどうか。

以上

体育大会記録

優勝	第二町内会
準優勝	松風台町内会
三位	第三町内会
四位	第一町内会
五位	甘沼町内会
六位	第四町内会

寿

金婚式おめでとう

去る九月十五日、茅ケ崎文化会館にて香川より四組の方が祝福されました。

新倉甚太郎氏
明治四〇年八月二十九日生
新倉トシ氏
明治三十七年七月十七日生
結婚記念日
昭和五年一月二十日

温厚そうな御主人にシャキッと江戸っ子風な奥様です。

若い時はずい分苦労したが今は隠居で何もしてないんですよといろいろ話して下さいました。

お子さんは二人、お孫さんは五人、長男の家族と一緒に住んでいます。香川で生まれ育ちましたが21才の時東京へ出ました。

そこでトシさんと恋愛結婚、3才違いの姉さん女房です。

戦後、香川へ戻りましたが東京育ちの奥さんは農業の経験がないのでとても苦労したがその苦労が今の恵まれた隠居生活を築いたと思いますよ、と奥様。

御主人は不動産業を営み70才でやめましたが今でも時々土地の相談などに来る人がいるそうです。この50年間で最も嬉しかったのは「東京から戻ってきてその当時は疎開者は土地を買う事は出来なかったが地域の人達みんなの好意で買えました。人情が厚くとてもよくして頂いたのが何よりも嬉しい。いつまでも地域の人達とのかかわりを大切にしたい」。

甚ちゃん／／とみんなに親しまれ、仲人も10回、10組の御夫婦がみんな幸せにすごしているので安心です、とお孫さんに囲まれて話しておられました。

埋金一郎氏
明治三七年九月二十三日生
埋金艶氏
明治四五年一月五日生
結婚記念日
昭和五年十一月十五日

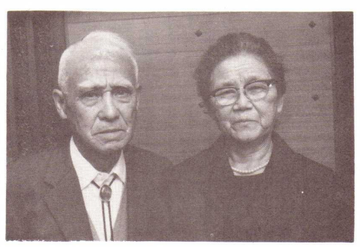
赤いスポーツシャツの御主人にステキなワンピース姿の奥様とてもモダンなお二人です。

御主人は佐賀県で生まれ5才の時韓国に移り、結婚も韓国にいる時です。結婚して15年目に日本へ引揚げ、当時6人のお子さんと一緒に奥様の郷里熊本県へ落着きました。その後大蔵省専売局（現在の日本専売公社）へ入り定年退職した年（38年10月）に香川へ移ってきました。

現在お子さんは7人、お孫さん6人です。自治会活動にも積極的に参加され初代広報委員、46年には自治会長をされ現在は「香川の将来を考える研究会」等に情熱を注いでおられます。

「戦争を通り抜けての50年は苦労が多々ありましたがその中で何事にもくよくよせず精神的な切り替えが早い妻であった事がとても有がたい」と語る御主人、「兵隊に行った主人が無事に帰ってきた時は腰が抜ける程嬉しかった、と奥様はおっしゃいます」。御主人は若い時からテニスを、奥様は陸上で二〇〇米の選手として活躍されたそうです。健康でいられるのが一番幸せな事と思っていますよ、と話して下さいました。

御主人が入れて下さったコーヒーの味、最高でした。



大内武夫氏
明治三八年二月二十日生
大内サカエ氏
明治四三年十一月二十日生
結婚記念日
昭和六年四月十七日

大内様は函館に生れ大正八年に逓信省（現在電信電話公社）に入社、根室、十勝、芦別等、四局の局長を経て本局勤務役で退職なさいました。釧路より息子さんの住むこゝ香川に来られたのはもう十八年前になり、当時は家から香川駅が見えたほど家がまばらだったそうです。

退職してからは永住の地になる香川に馴じむように老人会の会長をなさったり地域の為によく尽くされました。

会社の機関紙に投稿されたり書く楽しみがあったのが今では手が不自由になり思うにまかせずただ香川クラブ等に出席して地域の方々との交流はつづけておられます。

お子様四人のうちお孫さんが6人おられ近くには弟さんも住まれており、お孫さんのうち誰か自分の好きな音楽の道を進んでくれるのを楽しみにしているとのことです。孔子曰く。「……七十にして心の欲するところに従いて矩を踰えず」まさしく現在の生活心情は体力も自分の能力に合わせて背のびしないように過すことだそうです。

奥さんは終始にこやかに側で聞いておられ、庭いっぱいには丹精をこめて作られた季節の花々が咲きみだれていました。

自治会あれこれ

香川商興会

香川にお住いの皆様、いつもお引立を頂いております香川商興会でございます。流通の最先端にあって日々お客様と接する私達は今日「消費者は生活者である」という言葉を実感として受けとめております。そこでそれからの商業活動は地域の人々の生活に密着し、香川に住む一人一人のお客様に、商品との出合いを通して「地域の人々の生活を充実拡大する事に貢献できるモノ」でもあり、又生活提案者でなければならないと考えております。

さて商興会では今日まで香川の地域内に環境整備の一環として街路灯をすでに二十五本を僅かでありますがたてさせていただいております。

また、自治会主催の盆おどり、相模線ダイヤ改正時にはそのつど皆様のご家庭に時刻表を配布し、毎年行われる秋の地区体育大会には僅少ではございますが定期的にご援助をさせて頂き地域の方々との密着をはかって参りました。

尚、商業振興策として、お客様への利益の還元も合せ、サービス券事業を行っております。

すでにご承知かと思いますがこの券は商興会加盟店に於て必要なものと交換が出来るという生活に密着した制度に多くのご支持を頂いております。又数多く集めて頂いている方のために年一回、観劇のご優待をしています。今年は始めての企画として一泊温泉ご優待など、年々お客様のニーズにあわせた企画をたてご好評を頂いております。これらの企画が年毎に盛り上りの傾向をたどり大変ありがたい事と感謝しております。

さて最後に商興会々員一同は商人の道は人間として誠実をつくすことにほかならないと考え私達一同力を合せ皆様のご期待に添えるべく商店街づくりに邁進していくつもりでございます。

これからも従来にもましてホットなご支援をいただければ誠に幸いでございます。

商興会々長　沼上　宏

街のかどから 3

この町に住んで

第一町内会組長　大野修一

私共がこの香川の町内に住み早一年を過ぎました。普段はとても静かな町が夏になるとあちらこちらから祭囃子の太鼓や笛の音が聞こえ心和む思いです。

また私共の家から昼間はあまり感じない相模線を走る電車の音が静かになった闇の中で夜の主役であるかのように時折「ゴトンゴトン」と聞えてくるのは心安らぐ思いがします。

こんな町に住めることにとても幸福感を覚えます。そして今以上に住みよい町にしていきたいとも思います。

二、三気がついたことを書かせていただきます。

年に何回か町内清掃はやりますが害虫などの駆除はやられてないのではないでしょうか。沼地や田や畑が沢山ある所なのでこういった事もやらなくてはならないのでは町の美化につながらないと思います。

また街灯やカーブミラーですが大きな事故が起る前に早く全ての道路に取り付けて欲しいと思います。例え人通りの少ない道路であれ道がある以上は人が通り車が走るものだと思います。特に女性の夜道での一人歩きや小さな子供の居る家庭などでは昼夜に心配が堪えないのではないでしょうか。

最後に先日の共同募金で気がついたのですが、この場合のお金などは自治会費から出すのはおかしいと思います。自治会費に余裕があるのなら先に述べた防犯などに使って欲しい。例えば夜道を歩く人のためにポケットベルを与えるなりすればよいのではないでしょうか。いろいろ述べさせて頂きましたが香川の町が今以上に明るく住みよい町になりますよう心から願っております。

組長になって

第三町内会組長　金森四郎

住めば都という諺があります。「鳥も通わぬ山なれど住めば都よわが里よ」住んでみればどんな不便なところでも住みよくなり、自分の巣が一番よいということを意味する言葉だそうです。

私も香川に参りまして今年で十三年目になりました。第四町内会に七年近くお世話になり、今第三町内会で五年目を迎えておりますがどうやらここが永住の地となりそうです。

私達サラリーマンには会社という組織の中に、またそれぞれの職場が存在します。これは地域の自治会を見ても同じことがいえます。自治会を一本の幹とたとえるならば町内会およびそれぞれにたずさわる各組は幹を育てる根であり枝であり、お互いが協力し合ってこそ幹も大きく育つことと思います。

私も今年は組長を引き受けておりますが、正直を申しまして「どうせ廻ってくる輪番制」という気持がなきにしもあらずでしたが、改めて香川をひと廻り歩いて感じたことはこれだけ人口が増えたのだから香川駅周辺にでも交番が欲しいと思います。

それぞれむづかしい問題がありますが少くとも気楽な挨拶が交わせるよう隣人を愛しお互い協力し合って住みよい町内づくりができるよう微力ながら頑張りたいと思っています。

チサンの公園に防火水槽完成!!

今年度の市予算により、防火水槽が市内三箇所に着工予定となり香川もその一箇所に決ったのです。巾6m、横4m、深さ2mの防火水槽が7月20日より工事が進められ10月に完成。現在同様の水槽が香川の第一町内会市営住宅の所にあります。

評議員の交替

（第一町内会）

新　原田　実さん（20組）

旧　山本昭弘さん（23－1組）

※56年9月1日付にて交替

茅老連主催ゲート・ボール香川チーム優勝す!

香川寿クラブのゲート・ボールも満二才の誕生を迎え、本年は茅老連主催の大会に出場するのが部員の念願でした。

春からは日曜日と雨の日以外は毎日ステック（木槌）で、ボールを追い続けました。早朝の澄んだ空気の中で行うゲート・ボールはまことに爽快で、技倆も著しく向上しました。

八月に菱沼と試合を行いこの時香川が松林地区代表に決りました。

九月九日待ちに待った茅老連ゲート・ボール大会の日が来ました。幸い天候に恵まれ一同張り切って試合にのぞみました。

最初に香川対赤松が対戦することになり、一抹の不安と、いや増す緊張のうちに試合開始、香川の各選手は第一ゲートを順調に通過し優勢裡に試合を進め胸をかりる心算で対戦した赤松を破り、前年度優勝した矢畑との決勝戦も軽い気持でどこまで戦かえるかとのぞんだ処、幸運にも各選手が順調に第一ゲートを通過したため試合を有利に進め三十七対九で見事優勝!!

立派なトロフィを授与されるとともに県大会に茅ケ崎代表として出場の栄を得ました。これは部員一同の努力もさることながら地区の皆さんの絶大なる御後援の賜で心からお礼を申し上げます。

今後一層ゲート・ボールの発展に努め、会員の健康増進とコミニケーションに役立てたいと念願しています。

× × ×

十月二十日藤沢市県総合体育場に於て県下二十六チーム参加の県大会に茅ケ崎代表として出場しましたが惜しくも破れました。

（大嶽　藤一郎記）

散水用水道と自転車置場できる

－第一青少年広場に－

風の強いときなどは広場の砂ぼこりが煙りのように吹き荒れ周囲の家では、サッシュや雨戸を締めていても、ほこりが入り大変困っていました。市に近所の要望としてお願いしてありましたので、自転車置場と併せて散水用の水道二口も設置されました。

水道の使用目的

※風の強いときに散水するため

※自治会の盆おどり等使用の時

※子供会行事で使用のとき等

＝市職員より一言伺って＝

出来上って早々にホースを切られてしまったり、水を流しっぱなしにしたり……といたずらが目だちましたので、箱をつけて必要なときだけ使用出来るようにしました。箱にはカギがかけてありますが、そのカギもこわされ再度修理しましたので大切に使って下さい。

カギの管理をしている方

鶴田保久氏第3（11の1組）

野溝宏子氏第3（29組）仲通り子供会代表指導員

※次期代表指導員に継ぐ。

× × ×

以前より子供会や自治会で市にお願いしていた自転車置場がこの程完成いたしました。

今までは何台もの自転車が道路に乱雑に置かれ交通に支障をきたす時もありましたが、これからは必ず自転車置場においてから遊ぶようにしましょう。

ごみの減量化に協力を!!

会員のみなさんが、不燃物を資源回収に協力すればそれだけ処理費は少なくすみ、又その収益でみんなの為に役立てることも出来一石二鳥です。

他の自治会で毎月一回新聞、びん、ボロ類等を分別し業者に売り渡し減量化に成果をあげているところもあります。

わたし達の地域も「ごみ問題」にもっと意識を高め積極的な取りくみをしなければいけないのでは……どう思いますか。

訃報

ここに謹んで哀悼の意を表します。

松田こぎく殿　84才　8月24日

第二町内会　2組

岩本　夏代殿　3才　8月30日

第三町内会　25組

土田　タカ殿　62才　10月17日

第四町内会　7組

児玉　與一殿　73才　10月20日

第三町内会　25組

関田　安幸殿　70才　10月23日

第一町内会　2組

川口　三郎殿　57才　11月1日

第四町内会　34－3組

交通安全のために伸びた枝切りを!

各家庭の庭木も春、夏と枝葉も大きく伸び蒼々と茂っているところもあるようです。

道路に面した所では、伸びた枝葉により、道路標識が見えにくくなっていたり又防犯灯のあかりを遮っていたりしています。

交通事故防止の安全面から、是非あぶないとお気づきの場所がありましたら手入れをして下さい。又は町内清掃のとき、ご近所ご相談の上はみだした枝の切り取りをお願いします。

自治会日誌

8月1日　文化厚生委員会

4日　育成推進協議会

6・12・17・22・30日体振

9・12日防災情報班

23日　自治会研究会

9月8・14・20・26日体振

21日　広報委員会

22日　第三町内会役員会

24日　第二町内会

10月4・17・22・24日体振

15日　育成推進協議会

17日　第三町内会

18日　広報委員会

〃　監査と評議委員会

25日　自治会役員会

編集後記

自治会館五周年を迎え特集記事となる／案内状を神棚に上げて拝まれたとか、敬老の集いの意義のあったことを知る／菊祭りの展示品に個人の参加を望む／紙面の都合で折角の原稿を削らなければならない辛さ／この号で今年は終り／御協力に感謝しております。

（広報委員一同）